

番組バンク 字幕インサータ導入

送出部

1. はじめに

今年度、「字幕インサータ」を導入する運びとなりましたのでご紹介いたします。

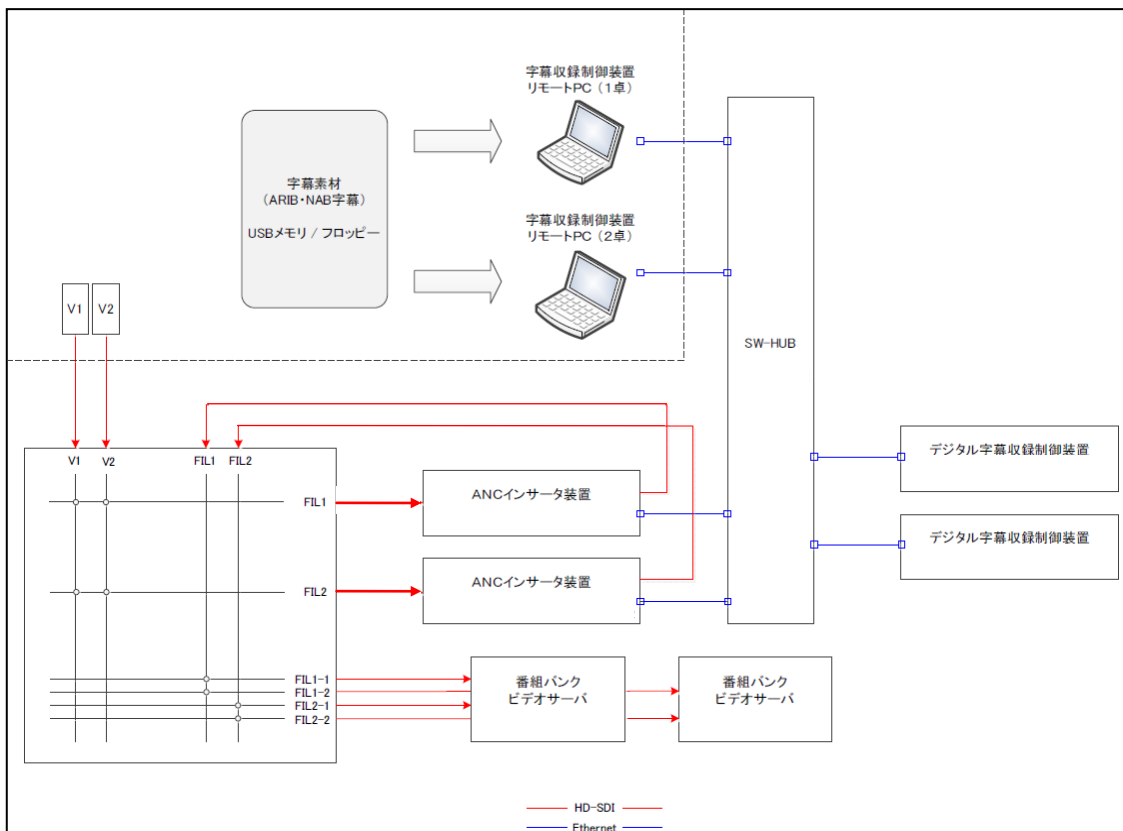
2. 機器構成と字幕形式

今回導入した機器は、字幕素材の選択や重畳開始などの制御を行う「デジタル字幕収録制御装置」と、入力された SDI 信号の V-ANC 領域に字幕の重畳を行う「ANC インサータ装置」の 2 点です。ANC インサータ装置は、ファイリング卓と番組バンクビデオサーバの間に挿入する形で設置しました。各ファイリング卓には、収録制御装置の

リモート PC を置き、ここで重畳する字幕データを管理します。実際のオペレーションは非常に簡単で、字幕データをセットさえすれば、あとは登録する VTR のタイムコードに連動して重畳されていきますので、通常の番組バンク登録と同じように作業することができます。本装置ではアナログ字幕 (NAB 規格)、デジタル字幕 (ARIB 規格) のどちらでも重畳が可能となっています。

3. 字幕素材の受け渡し

字幕データの搬入方法は次の 2 パターンです。



- ①メール添付で字幕データを受け取る
- ②HD-CAMと一緒に字幕データ(フロッピーディスク)を付けてもらう

今後も字幕情勢の動向を注視して、適切な設備導入を心掛けます。

①の字幕データはUSBメモリに移し、搬入してもらうことにしました。②については、この時代にフロッピー？という疑問が当然ありましたが、番組販売元が字幕をフロッピーで管理している都合があるので、HBCとしても受け入れざるを得ませんでした。2010年頃に生産中止となっているフロッピーですが、一体いつまで現役なのでしょうが…。

ということで、こちらでもフロッピーの受け口を用意する必要が出てきたのですが、PCに接続するFDドライブの調達には若干苦勞しました。ネットで調べても無名メーカーの製品ばかりでしたし、Windows10動作対応と明記されているものがほとんどなかったので、信頼性を考えるとなかなか決断できず…。なんとか購入した2台のドライブは問題なく動いてくれたので一安心でしたが、今後は更に調達が難しくなってくると思います。

4. まとめ

2016年度の字幕番組の時間数は、2015年度との対比で、全体では約1割増加、購入番組では約2割増加、という結果となりました。増えた割合の全てが番組バンクの後付け字幕というわけではありませんが、字幕インサータが字幕付与率のアップに大きく貢献したことは間違いありません。